

令和7年度 常楽寺特別会計決算書

収入金額	9,186,620	支出金額	60,000	差引残額	9,126,620
------	-----------	------	--------	------	-----------

《収入金額の内訳》 (単位：円)

前年度繰越金	7,115,767
利息	11,058
篤志寄附金	2,000,000
積立金	59,795
繰入金	0
合 計	9,186,620

《支出金額の内訳》

本堂壁すきま修繕	60,000
振込手数料	0
合計	60,000

差引残高 9,126,620 円を次年度へ繰り越します。

篤志寄附

東京都 川手正一郎様・美弥子様 2,000,000 円

ホームページ開設のお知らせ

<https://jyourakuji.net>



「手の欠損部分が修復された
北辰妙見大菩薩」

「文化財防火デーに伴う
消火訓練」



令和7年度 常楽寺護持会会計決算書

収入金額	1,326,468	支出金額	1,078,467	差引残額	248,001
------	-----------	------	-----------	------	---------

《収入金額の内訳》 (単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
会 費	1,095,000	1,128,000	33,000	会費 376件
雑 収 入	959	427	△ 532	利息 427円
繰 入 金	0	0	0	
繰 越 金	198,041	198,041	0	
合 計	1,294,000	1,326,468	32,468	

《支出金額の内訳》

項 目	目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
事務費	事 務 費	40,000	45,684	5,684	切手代 振込手数料
会議費	総 会 費	50,000	32,500	△ 17,500	監査 役員総会
事業費	除 草 費	20,000	16,743	△ 3,257	除草剤散布
	植木管理	120,000	137,000	17,000	
	営 繕 費	30,000	0	△ 30,000	動噴、散布ノズル修理代
負担金	宗 費	420,000	411,970	△ 8,030	
	宗務所費	130,000	120,950	△ 9,050	
	県仏教会	500	500	0	
	建物共済	245,000	242,180	△ 2,820	本堂用
	水 道 料	35,000	31,152	△ 3,848	常楽寺外トイレ、 昌庵院トイレ
	電 気 料	18,000	14,788	△ 3,212	昌庵院トイレ
慶弔費	見舞・香典	30,000	25,000	△ 5,000	香典 生花
負担金	負担金	0	0	0	
予備費	予備費	155,500	0	△ 155,500	
備蓄	定期預金	0	0	0	
合 計		1,294,000	1,078,467	△ 215,533	

令和7年度 庶務報告

令和7年4月27日	令和7年度護持会総会
6月配布	『常楽寺便り』
7月20日	除草剤散布（常楽寺）
25日	除草剤散布（昌庵院）
9月18日	山梨県宗務所護持会集会
令和8年1月25日	文化財防火デーに伴う消火訓練
4月12日	責任役員会（会計監査）



県重要文化財
本尊 阿弥陀如来立像



令和八年度 常楽寺便り

<ご案内>

納骨墓苑（常楽寺）

南東に富士山、西南に櫛形山が見える納骨墓苑阿弥陀様のご加護を受けながら新たな世を安寧に



【問合せ】 常楽寺 055-282-4405

2霊（骨）用 ご夫婦・親子などに
150,000円（戒名刻費別途 一霊25,000円）
1霊（骨）用 親族が遠く離れている方などに
100,000円（ ” ” ）
共通 25,000円（共益費／一度）
3,000円（護持会費／年）

「門前のえん魔大王様」



「境内に完成した日本庭園」



<指定生花店>

葬儀用生花、法事用切り花など
ご用命ください。

ナカザワ園芸センター

南アルプス市飯野 2962-1
TEL 055-283-8741 中澤



<常楽寺門前 徒歩1分>

法事後のお齋・食事会に
ご利用ください

割烹 いろいろ

南アルプス市飯野 1759-4
TEL 055-284-2714 中澤



お住まいのお困りごとは
お気軽にご相談下さい。



〒400-0222 山梨県南アルプス市飯野 1810
TEL:055-283-2460(8時～18時・日曜定休)

土地・不動産・相続のことは

☎ 0120-39-2455

リフォームのことは

☎ 0120-39-2460



ホームページ



LINE



Instagram



住職

坂場 徹成

常楽寺檀信徒の皆様におかれましては、日頃より護持運営に関しまして、ご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

お釈迦様は「人のよくない所を見るな。ただ自分の何をなすか、を思うべし」と説かれています。今SNSを始めとする情報過多の時代にあって心に置くべきは、意見や考えの違いで人格までを否定し自身を正当化するのではなく、寛大な心をもって、先ずは自分の道をしっかりと歩んでいくことです。

さて、この三月から毎週金曜日の午前中に二時間ですが外部就労支援で、二名の方が皆様に気持ちよく墓参していただけるよう境内の環境整備に携わっております。

また死別をはじめとする「喪失」を体験した人は多いと思います。その悲しみや痛みに寄り添い、立ち直りできるようサポートするグループケアも取り入れました。詳しくは「常楽寺ネット」（ホームページ）をご覧ください。

「終活」と言う言葉も一般化してきました。「終活」とは亡くなるための仕度ではなく、何が大切かを考えることにより今の人生をより充実させていくものです。常楽寺においても檀信徒の皆様への心の拠り所となる寺院運営を進めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



護持会長

米山 敏彦

皆様より温かいご支援とご協力を賜り、昨年度も境内の環境整備など諸活動が無事に進めることが出来ましたことに對し、先ずもって護持会長として厚く御礼申し上げます。

本年度につきましても去る四月二十六日に行われた護持会総会において、各地区より選出された役員さんの承認をいただくなか、護持会事業もスタートすることとなりました。

今、国際情勢は目まぐるしく変わり、緊張が続いている日本と中国、また原油を始めとする資源確保など、私たちの生活にも大きく関係する事態となりつつあります。また国内においても大きな震度の地震、山火事など自然の力の猛威を感じずにはいられない状況です。そんな状況下であるからこそ、大切にしていきたいことは經典にも説かれている「足るを知る」心です。足るを知るとは心が豊かで安らかな境地であり、欲には上を見たらきりが無いとの教えです。私たちが生きていくうえで何が最も大切なことを、「利他心」をもって家族や住んでいく地域の安寧を願っていききたいものです。

次の世代にも平和で、お寺をしっかりと受け繋いでいけるよう、役員一同力を合わせてまいりますので、これまで以上のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。